

物価高騰もう限界

水光熱費11年で7万円増

電気・水道・ガスの料金が高いと感じませんか。横浜市都筑区の山成智子さん(63)は、年間の水光熱費が2010年から21年の11年間で、7万円も上がったと驚きます。家計簿を見せてもらいました。

(遠藤寿人)

山成さんは夫(66)と息子(33)、3人で団地暮らしです。

守ろうくらし

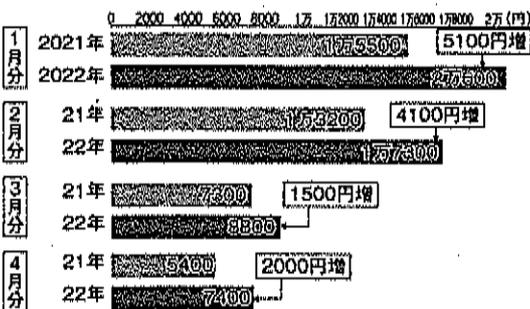
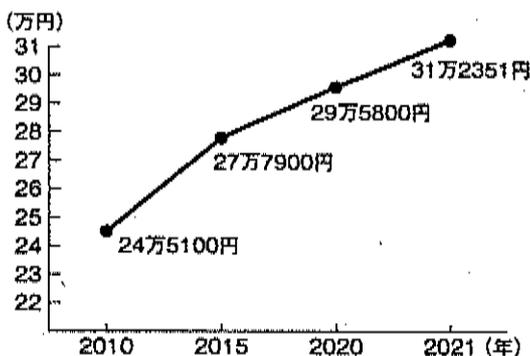
2022家計簿

10年と21年を比較すると電気料金は、年8万円から10万5000円と2万5000円増に。水道代は8万円から12万1000円と4万1000円もの値上がりでした。



10年お持ち付けた家計簿を見せる山成さん

生活応援 やさしい経済を



さらに年金減らすとは

山成さんは「水光熱費が、主な要因といわれて

の負担増でした。

ロシアのウクライナ侵略などの影響で小麦粉の値上げはさすがに、3月にスパゲティ1kg65

は、生活に欠かせない基本となるもので、これ以上値上げされては困る」と訴えます。

山成さんと近くのスーパーを、訪ねてみました。店頭でさまざまな野菜の安売りをしています。

20年6月8日の家計簿に記載されたスイカやレタ、シラス干し、レバーなどの値段は、おむね変化はありませんでした。「魚はどの魚も高くなっている」とは山成さん。

ロシアのウクライナ侵略などの影響で小麦粉の値上げはさすがに、3月にスパゲティ1kg65

大病を患った夫の病後に「いいものを食べさせてあげたい」と奮発。サロインステーキにすることもあります。普段は、1000〜1800円のしゃぶしゃぶ用のフタ肉か、バラ肉を買います。

スーパーの店員に1000〜3000円の「金羅豚」を勧められますが手が出ません。

山成さんは「外食もほとんどしないし、洋服も極力買わないようにし、イクラやウナギは大安売りの時しか食べていません。物価の高騰は暮らしへの大打撃です。水光熱費や食料品の値上げで負担は増えるばかり。それなのに、年金は下げられるとは…。生活を応援する対策、暮らしにやさしい経済を望みます」と話します。

病後いいものを

8円(税込み)が、今は8668円に暴騰。2100円の値上げです。「とても買えない」と山成さんは代わりに4玉228円の冷凍うどんで我慢しています。